



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.746 2025.2.26

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

赤羽一丁目第一地区市街地再開発 組合が計画を見直し

再開発 税金投入 1.5 倍に

26日の区議会地域開発特別委員会で、赤羽一丁目第一地区の再開発組合が計画内容を一部見直ししており、税金投入額が当初の約1.5倍になることなどが報告されました。(のの山けん)

同計画は、2024年1月に事業計画の認可を受け、同年5月には地元説明会で計画の内容を明らかにしていました。

その後、実施設計業務の中で、公共貢献として設置する自転車駐車を水害対策の必要により地下1階から地上2階と3階に移すなどの施設計画の見直しが検討され、それによつてスケジュールや事業費も変更となる予定

再開発ビルの竣工は6年後に

現時点では、解体工事着手が今年7月から27年2月に、再開発ビル新築工事完了が29年6月から31年9月へと延び、竣工

は当初計画より2年強先になる見通しです。

税金投入は当初計画から31億円増

また、再開発事業に対して区が税金で支出する補助金は約75億円から約88億円と13億円の増、当初計画の約57億円からは31億円もの増額となる見込み。

私は委員会の質疑で、「北とびあの改修は、建設コスト上昇で事業費が当初の100億円から190億円

スケジュールの変更

- 解体工事着手 2025年7月 → 2027年2月
- 新築工事完了 2029年6月 → 2031年9月

事業費の変更

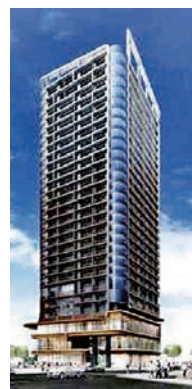
- 総事業費

約 **238** 億円 → 約 **285** 億円

- うち区補助金の額 (税金投入)

約 **75** 億円 → 約 **88** 億円

となり見直しとなった。再開発でも今後、さらに税金投入額が増えていくようなら、区民の理解をしっかりと得られるよう対応すべきだ」と意見を述べました。



「第一地区」再開発ビルの完成予想図



個人質問

野口 まさと

議員

北区は大型開発中心の駅周辺まちづくりを推し進めています。再開発ビルが竣工した十条駅西口では、タワーマンションが大企業や海外投資家の投資・投機の対象とされていたり、商業区画へのテナント契約がなかなか決まらないなど、「にぎわいと安らぎを奏でるまち」とした十条まちづくり基本構想の将来像とは相容れない

大型開発中心のまちづくり再検討を

状況になっているのではないかと追及しました。また、こうした現状から、赤羽駅周辺のまちづくりにおいても、一番街商店街周辺の区域では新たな再開発を行わず、修復型のまちづくりとするよう求めました。区は、「土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図る」などと再開発固執の姿勢を示しました。



代表質問

山崎 たい子

議員

戦後80年、被爆80年でもある今年、戦争の被害・加害を直視し、改めて戦争の心配のない日本・北区、世界・東アジアをと願ひ、戦後80年誌発行記念講演会、区民の被爆体験や空襲、学童疎開などの体験を聴く会、図書館での企画展示、映画会などの平和事業に取り組むことを求めました。また、物価高騰対策では、

戦後80年平和事業の充実を

過去最高の228億円に積み上がった財政調整基金も活用し、区独自の給付金拡充、働く人の賃金引き上げ・雇用条件の改善、訪問介護ヘルパー支援、シルバーパス購入費用助成、教育費の無償化・負担軽減、区民施設料の負担軽減などを提案。さらに、杉並区が踏み出した家賃補助制度を北区でも創設するよう求めました。

赤羽岩淵中学校で避難所開設訓練



22日、赤羽岩淵中学校で行われた避難所開設訓練。赤羽管内の各町会・自治会の代表らが、北区で震度6強の地震が発生したとの想定で避難所を速やかに開設し、避難者を受け入れる手順を、実体験で確認しました。(のの山けん)